

北海道支所創立

20周年記念式典行なわれる

斎藤 正雄

昭和23年に 時局の要請によって発足した地質調査所北海道支所は 今年8月1日をもって満20年となる。この間 第2次大戦後の社会情勢の激変に伴い 紆余曲折はあったが 先輩諸賢とともにわれわれは全力をあげて業務を遂行し 同時に関係大学・官界・業界等の協力をも受けてきた。最近では 科学技術の急速な発展に備えての体制づくりのため 絶ゆまざる努力をしているとともに 北海道地方の地域開発のための基礎資料を収集・提供している。

このように 北海道支所の歴史は浅いが 業務が多岐にわたっており またこの間の変せんもきわめて大きいものがある。現在の社会情勢に対処して行くにも 個人個人の研さんとともにそれらの総合力を発揮することが必要となってきた。なお本道の地質図幅調査（5万分の1）は本州に比べて著しく進捗し 鉱床調査は今後潜頭鉱床の探査に方向づけられ 産業立地に関係する平野地質の解明 地すべりその他の応用地質の技術開発が問題となってきた。

このように 今後の調査研究にはきわめて精度の高い新しい技術が要求され そのために施設の整備とともに 人容の面でもその体制づくりが急務となっている。と



式辞をのべる斎藤支所長

ころが 未だに地質調査事業が概して一般に認識が薄くわれわれとしてもこのためのPRの必要性が痛感されできるだけ一般社会に気楽に利用されるような研究機関であるよう念願している。このような意味をも含めて今回の20周年記念事業を施行することとなったのである。

式典は札幌市グランドホテルで次に述べるような式次第で行なったが 多数の来賓の出席をいただき お蔭で初期の目的に沿うにふさわしい盛大なものとなった。

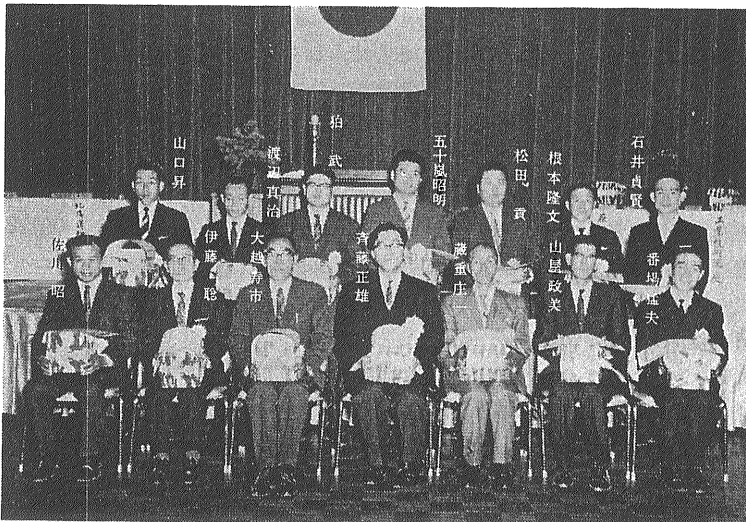
式典は 石川庶務課長の開式の辞に始まり 支所長 所長 工業技術院長の挨拶 引きつづき 札幌通産局長 北海道知事 北海道大学長 札幌市長 道立地下資源調査所長 北海道鉱業会長 日本石炭協会北海道支部長等々のかたがたの祝辞につづき祝電披露が行なわれた。

なお 功勞者 永年勤続者として表彰を受けたかたがたは つぎのとおりである。

功 勞 者 原田準平・坪谷幸六・佐藤源郎・根本忠寛・下平文男 以上5名

永年勤続者 斎藤正雄・大越寿市・伊藤聡・佐川昭・山口昇一・根本隆文・松田貢・五十嵐昭明・蔵重庄一・渡辺真治・石井貞賢・粕武・山屋政美・内海ツル・番場猛夫 以上15名

(筆者は 北海道支所長)



永年勤続者として表彰をうけた支所職員